

【新人助産師のマタニティケア能力と助産師基礎教育における課題】に関する研究のお願い
質問紙調査・インタビュー調査のご協力のお願い

私たち京都光華女子大学では、新人助産師の実践能力と基礎教育との関係性に注目しております。周産期医療の現場では近年少子化や高齢妊娠などの状況で助産師の勤務状況は変化してきており、かつ助産師に必要とされる実践能力と、助産師学生が基礎教育で修得する内容に大きな乖離が生じている現状です。助産師は、助産教育から臨床に移行する過程での状況において重要なキャリア開発の時期であると同時に、さまざまな問題に直面した場合には心身の健康に影響を及ぼす可能性もあります。私たちの研究ではこの関連性を明らかにすることで助産師の基礎教育改善の基礎資料になり、それにより新人助産師の臨床への移行もスムーズになると考えております。本研究の主旨と以下の内容をご理解の上、ご協力いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

具体的には、以下となります。

1. 対象者

- 1) 応募予定数：10名程度
- 2) 対象に含まれる方
 - ・ 臨床で勤務されている
 - ・ 2023年、もしくは2024年に助産師国家資格を取得されている
 - ・ 助産業務（妊産褥婦を対象）に携わって1年以内である

2. 調査期間

募集期間は京都光華女子大学研究倫理委員会承認後～2025年3月までの予定

2. 調査時間と内容

調査にご協力いただく期間は約2日間です。

具体的には、

- ① 調査1週間前の10分程度の質問紙調査
- ② 大学に来所にて約60分間のインタビュー調査（対面が困難な状況であればオンラインでお願い致します）。



3. 調査項目

<p>質問紙調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査項目は年齢、助産師教育修了課程、在学中の分娩介助例数、就職先の施設、現在の配属部署、就職してからの分娩介助例数、今まで関わった対象者（妊婦、産婦、褥婦、新生児）、現在の業務内容など
<p>インタビュー調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究者と1対1の個別インタビューです。 ● 臨床現場におけるマタニティケアに関する習得状況を踏まえて困難感や体験を確認させていただきます。助産師教育で習得しておけば良かった内容、助産師教育で習得しておいて良かった内容をお話していただきます。具体的には下記のような内容になります。 <p>妊娠および産褥・新生児期</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 妊婦・褥婦ケア方針の理解と対応 <input type="checkbox"/> 妊娠期、産褥期、新生児期に関する業務基準・手順の活用 <input type="checkbox"/> 対象のニーズの把握 <input type="checkbox"/> 母体および褥婦の健康診査 <input type="checkbox"/> 胎児の健康診査 <input type="checkbox"/> 新生児の健康診査 <input type="checkbox"/> 妊婦、褥婦および新生児のケア計画 <input type="checkbox"/> 妊婦、褥婦のケア計画に基づいた、健康教育・相談 <input type="checkbox"/> 新生児のケア <input type="checkbox"/> 妊婦・褥婦および新生児に提供したケアの評価 <input type="checkbox"/> ケアの連携・継続 <input type="checkbox"/> バースプランの把握 <input type="checkbox"/> 母乳育児に対するニーズの把握 <input type="checkbox"/> 母乳育児に関するケア・指導 <p>分娩期</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 分娩方針の理解と対応 <input type="checkbox"/> 妊娠期、産褥期に関する業務基準・手順の活用 <input type="checkbox"/> 対象のニーズの把握 <input type="checkbox"/> 分娩経過の診断 <input type="checkbox"/> 助産計画 <input type="checkbox"/> 産婦のケア <input type="checkbox"/> 分娩介助 <input type="checkbox"/> ケアの評価 <input type="checkbox"/> ケアの連携・継続 <ul style="list-style-type: none"> ● インタビュー調査中は同意を得て録音（ZOOM の場合は録画をご相談）をさせていただきます。

4. 応募から調査までの流れ

まず、研究の目的、研究の流れのご説明をさせていただきたいのでGoogleフォームでメールアドレス登録だけお願い致します。ご協力くださる方には、2回目のGoogleフォームを通じて、インタビューの日程調整と連絡先などをお伺いします。

研究のご協力に関する書面上の同意書サインをいただきます。ご自宅に返信封筒を添えて書類を郵送いたしますので、お手数おかけしますが大学まで郵送をお願いします（もしくはPDF等の電子媒体で送付いただきます）。

3回目のGoogleフォームを通じて10分程度の質問紙調査を調査1週間前に送らせていただきます。調査前日までにご返信いただければ幸いです。

京都光華女子大学に来所、もしくはオンラインにて約60分間のインタビュー調査を実施させていただきます。

5. 謝礼

インタビュー調査時 1500 円分のクオカードをお渡し致します。

オンラインの場合、謝礼は後日郵送させていただきます。

本大学に来所いただいた場合は交通費も後日お振り込み致します。

6. 倫理的配慮

- ・ 本研究は京都光華女子大学の研究倫理委員会の承認を経て行っています。
- ・ 本研究への協力は、皆様の自由意思によるものです。本研究に協力しないことで不利益を受けることはありません。研究参加にご協力いただける方は、2 回目の Google フォームで対象者様のお名前、お電話番号、住所、インタビュー調査希望日の記述をお願い致します。
- ・ Google フォームはプライバシーポリシーに準じ、信頼性、安全性が確保されたシステムです。
- ・ 研究協力にご同意をいただいた後でも、調査終了前であれば同意を撤回することが可能です。同意を撤回することで不利益を受けることはありません。
- ・ インタビュー調査に応じていただいた場合でも、答えたくない質問に拒否したり、途中でインタビューを取りやめたりすることができます。それによって不利益を被ることはありません。
- ・ インタビュー調査時は大学までの来所、もしくはオンラインでの調査を選択していただきます。大学内での調査に関してはプライバシーが保たれる個室を用意致します。
- ・ インタビュー調査中、研究者は個人が特定されるような所属名や名前などの表現をさけるため、調査前に協力いただいた方の順にアルファベットを付与致します。
- ・ インタビュー調査が ZOOM 等のオンラインを通じての場合の通信費は対象者さまにご負担いただきます。

- ・ データの分析をするまでの過程として、対象者さまのインタビュー中の内容を文字に変換させていただきたいため、インタビュー中は録音もしくは録画をさせていただきたいです。インタビュー調査中に個人が特定されるような表現があれば文字に変換の段階でその部分を削除致します。
- ・ 後日必要に応じて再インタビューをお願いする場合があります。ただし、再インタビューへの協力を断ることができます。それによって一切不利益は被りません。
- ・ ご記入いただいた質問紙やインタビューさせていただいたデータについては番号で管理し、パスワードで管理できるストレージに保存し、鍵付きボックスに入れて厳重に管理いたします。なお、分析は研究者が在籍している京都光華女子大学で行います。
- ・ データは研究終了後、10年間保存したのち、破棄、消去いたします。
- ・ 本研究は看護研究として実施するものであり、結果は論文や学会発表という形で公表します。その際に個人が特定されることはありません。
- ・ その他の得られた情報についても本研究以外の目的では使用いたしません。
- ・ 調査結果に関する情報の開示に関して調査時は行っておりません。ご希望があった方のみ後日メールもしくは郵送でお知らせ致します。
- ・ 必要に応じて個人情報等の保護に支障がない範囲で研究計画書及び研究方法に関する資料を開示いたします。気になる点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

本研究についてご不明な点やご意見などがございましたら

下記の連絡先までお問い合わせください。

「新人助産師のマタニティケア能力と助産師基礎教育における課題に関する研究」 研究班

研究責任者：京都光華女子大学 助産学専攻科

講師 海野多栄子

【連絡先】

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38

Tel: 075-366-2667 E-mail: koka.ousi198@gmail.com

